

シラバス

指定番号 242

商号又は名称： 学校法人金剛学園介護初任者研修講座

科目番号・科目名	(1) 職務の理解			
指導目標	これからの介護が目指すべき、その人の生活を支える「在宅におけるケア」などの実践について介護職がどのような環境でどのような仕事を行うのか以降の研修に実践的に取り組めるようになる。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 多様なサービスと理解	3	3		<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険サービス（居宅、施設）の概要 ・介護保険外のサービスの概要
② 介護職の仕事内容や働く現場の理解	3	3		<ul style="list-style-type: none"> ・居宅、施設の多様な働く現場におけるそれぞれの仕事内容 ・ケアプランの位置付けに始まるサービスの提供に至るまでの一連の業務の流れとチームアプローチ・多職種、介護保険サービスを含めた地域の社会資源との連携
(合計時間数)	6	6		

使用する機器・備品等	
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を 0 にすることはできない。なお、通信時間数については別紙 3 に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30 分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 242

商号又は名称： 学校法人金剛学園介護初任者研修講座

科目番号・科目名	(2)介護における尊厳の保持・自立支援			
指導目標	利用者の尊厳ある暮らしを支える専門職であることを自覚し、自立支援、介護予防という介護・福祉サービスを提供するにあたっての基本的な視点を持つ行動例を理解する。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 人権と尊厳を支える介護	4	4		<ul style="list-style-type: none"> ・人権と尊厳の保持 ・QOLの考え方 ・ノーマライゼーションの考え方 ・虐待防止、身体拘束禁止
② 自立に向けた介護	3	3		<ul style="list-style-type: none"> ・自立支援の要素とその方法 ・自立を高める支援方法 ・介護予防の考え方
③ 人権啓発に係る基礎知識	2	2		<ul style="list-style-type: none"> ・人権の基礎知識 ・
(合計時間数)	9	9		

使用する機器・備品等	
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 242

商号又は名称： 学校法人金剛学園介護初任者研修講座

科目番号・科目名	(3)介護の基本			
指導目標	介護職に求められる専門性と職業倫理の必要性に気づき、職務におけるリスクとその対応策のうち重要なものを理解している。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 介護職の役割、専門性と多職種との連携	2	2		<ul style="list-style-type: none"> ・介護環境の特徴の理解 ・介護の専門性 ・介護に係る職種
② 介護職の職業倫理	2	2		<ul style="list-style-type: none"> ・専門職の倫理の意義 ・介護職としての社会的責任 ・プライバシーの保護・尊厳
③ 介護における安全の確保とリスクマネジメント	1	1		<ul style="list-style-type: none"> ・介護における安全の確保 ・介護事故予防、安全対策 ・感染対策
④ 介護職の安全	1	1		<ul style="list-style-type: none"> ・介護職の心身の健康管理
(合計時間数)	6	6		

使用する機器・備品等	
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 242

商号又は名称： 学校法人金剛学園介護初任者研修講座

科目番号・科目名	(4)介護・福祉サービスの理解と医療との連携			
指導目標	介護保険制度や障がい者自立支援制度を担う一員として知っておくべき制度の目的、サービスの流れ、各専門職の役割、責務について理解する。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 介護保険制度	3	3		<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護保険制度創設の背景及び目的動向 ・ 介護保険の仕組みの基礎的な理解 ・ 制度を支える財源、組織、団体の機能と役割
② 医療と連携とリハビリテーション	3	3		<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護職の医療行為 ・ 施設における看護と介護の役割と連携 ・ リハビリテーションの理念
③ 障がい者総合支援制度およびその他の制度	3	3		<ul style="list-style-type: none"> ・ 障がい者支援制度の理念 ・ 障がい者自立支援の仕組みの基礎的理解 ・ 個人の権利を守る制度の概念
(合計時間数)	9	9		

使用する機器・備品等	
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 242

商号又は名称： 学校法人金剛学園介護初任者研修講座

科目番号・科目名	(5)介護におけるコミュニケーション技術			
指導目標	高齢者や障がい者のコミュニケーション能力は一人ひとり異なることと、その違いを認識したうえで、コミュニケーションを取ることが専門職に求められていることを認識する。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 介護におけるコミュニケーション	3	3		<ul style="list-style-type: none"> ・介護におけるコミュニケーションの意義、目的、役割 ・コミュニケーションの技術、道具を用いた言語的コミュニケーション ・利用者、家族とのコミュニケーションの実際 ・利用者の状況、状態に応じたコミュニケーション技術の実際
② 介護におけるチームのコミュニケーション	3	3		<ul style="list-style-type: none"> ・記録における情報の共有化 ・報告の留意点 ・コミュニケーションを促す環境
(合計時間数)	6	6		

使用する機器・備品等	
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 242

商号又は名称： 学校法人金剛学園介護初任者研修講座

科目番号・科目名	(6)老化の理解			
指導目標	加齢に伴う心身の変化や疾病について生理的な側面から理解する事の重要性に気づき、自らが継続的に学習すべき事項を理解している。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 老化に伴うこととからだの変化の日常	3	3		<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴 ・ 老化に伴う心身の機能の変化と日常生活への影響
② 高齢者と健康	3	3		<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者の疾病と生活上の留意点 ・ 高齢者の多い病気とその日常生活上の留意点
(合計時間数)	6	6		

使用する機器・備品等	
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 242

商号又は名称： 学校法人金剛学園介護初任者研修講座

科目番号・科目名	(7)認知症の理解			
指導目標	介護において認知症を理解することを目的し、認知症の利用者を介護する時の判断基準と原則を理解している。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 認知症を取り巻く状況	1.5	1.5		・ 認知症ケアの理念
② 医学的側面から見た 認知症の基礎と健康管理	1.5	1.5		・ 認知症の概念 ・ 認知症の原因疾病とその病態 ・ 認知症のケアポイント
③ 認知症に伴うこころと からだの変化と日常生活	1.5	1.5		・ 認知症の人の生活環境 ・ 認知症の心理、行動の特徴 ・ 認知症の利用者の対応
④ 家族への支援	1.5	1.5		・ 認知症の受容課程での援助 ・ 介護負担の軽減
(合計時間数)	6	6		

使用する機器・備品等	
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 242

商号又は名称： 学校法人金剛学園介護初任者研修講座

科目番号・科目名	(8)障害の理解			
指導目標	障がいの概念と I C F (国際機能生活分類)、障がい者福祉の基本的な考え方を理解し、介護における基本的な考え方について理解している。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 障がいの基礎的理解	1.	1.		<ul style="list-style-type: none"> ・障がいの理念と I C F ・障がい者福祉の基本理念
② 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、関わり支援等の基礎的知識	1.	1.		<ul style="list-style-type: none"> ・身体障害の内容 ・知的障害の内容 ・精神障害の内容 ・その他の心身の機能障害
③ 家族の心理、関わり支援の理解	1.5	1.5		<ul style="list-style-type: none"> ・家族への支援 ・介護負担の軽減
(合計時間数)	3.5	3.5		

使用する機器・備品等	
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を 0 にすることはできない。なお、通信時間数については別紙 3 に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30 分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 242

商号又は名称： 学校法人金剛学園介護初任者研修講座

科目番号・科目名	(9)こころとからだのしくみと生活支援技術			
指導目標	介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法等を理解する。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
ア① 介護の基本的な考え方	2	2		<ul style="list-style-type: none"> ・理論に基づく介護 ・法的根拠に基づく介護
ア② 介護に関するこころのしくみの基礎的理解	4	4		<ul style="list-style-type: none"> ・学習と記憶の基礎知識 ・自己概念と生きがい ・老化や障がいを受け入れる適応行動
ア③ 介護に関するからだのしくみの基礎的理解	4	4		<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の様子の普段との違いに気づく視点
イ④ 生活と家事	6	6		<ul style="list-style-type: none"> ・家事と生活の理解 ・家事援助に関する基礎的知識と生活支援
イ⑤ 快適な居住環境整備と介護	6	6		<ul style="list-style-type: none"> ・快適な居住環境整備に関する基礎知識 ・住宅改修と福祉用具貸与
(合計時間数)	22	22		
使用する機器・備品等				

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 242

商号又は名称： 学校法人金剛学園介護初任者研修講座

科目番号・科目名	(9)こころとからだのしくみと生活支援技術			
指導目標	介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法等を理解する。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
イ⑥ 整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	6	6		・整容に関する基礎知識、整容の支援技術
イ⑦ 移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	6	6		・移動、移乗に関する基礎知識 ・利用者、介助者にとって負担が少ない移動、移乗の仕方 ・
イ⑧ 食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	6	6		・食事に関する基礎知識 ・食事に関連した用具、食器の活用方法と食事形態の工夫 ・
イ⑨ 入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	6	6		・入浴、清潔保持に関する基礎知識 ・入浴に関連した用具の活用方法と入浴方法の工夫 ・清拭の準備、全身の拭き方、体の支え方の工夫
イ⑩ 排せつに関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	6	6		・排せつに関する基礎知識 ・排せつに関連した用具の活用方法 ・排せつケアを受ける事での心理的負担を軽減する方法
(合計時間数)	30	30		

使用する機器・備品等	
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 242

商号又は名称： 学校法人金剛学園初任者研修

科目番号・科目名		(9)こころとからだのしくみと生活支援技術		
指導目標		介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法等を理解する。		
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
イ⑪ 睡眠に関連した こころとからだのしくみと自立に向けた介護	6	6		<ul style="list-style-type: none"> ・睡眠に関する基礎知識 ・睡眠環境と用具の活用方法、快適な睡眠環境の支援方法 ・安楽な姿勢の保持方法
イ⑫ 死にゆく人に関連した こころとからだのしくみと終末期介護	6	6		<ul style="list-style-type: none"> ・終末期介護に関する基礎知識 ・「死」に向き合うこころの理解、苦痛の少ない死への支援
ウ⑬介護経過の基礎的な理解	7	7		<ul style="list-style-type: none"> ・介護経過の目的、意義、展開 ・介護課程とチームアプローチ ・
ウ⑭総合生活支援技術演習	5	5		<ul style="list-style-type: none"> ・生活の各場面での介護について、ある状態像の利用者を想定し、一連の生活支援を提供する流れの理解と技術の習得を目指す。
(合計時間数)	24	24		

使用する機器・備品等	
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 242

商号又は名称: 学校法人金剛学園初任者研修

科目番号・科目名	(10)振り返り			
指導目標	研修全体を振り返り、本研修を通じて学んだことについて再確認を行う。就業後も継続して学習する姿勢を取り、学習課題の認識を図る。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 振り返り	2	2		<ul style="list-style-type: none"> ・研修を通して学んだこと ・今後継続して学ぶべきこと ・根拠に基づいた介護についての要点
② 就業への備えと研修終了後における事例	2	2		<ul style="list-style-type: none"> ・継続的に学ぶべきこと ・研修終了後における継続的な研修について
(合計時間数)	4	4		

使用する機器・備品等	
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

